

## 質疑応答の内容一覧

### 議事(1)令和4年度男女共同参画推進施策の実施状況について

番号	質疑応答
1	<p>(質問)市役所女性職員の監督職の割合が17%は少ないのでは。 男女共同参画を推進していく市役所が女性職員の監督職を40%にしていくことが必要ではないか。</p> <p>(回答)国が進める第5次男女共同参画基本計画の成果目標の中に、市町村職員の係長相当職を2025年度末までに40%とあるが、本市の状況は、職員の男女比の現状(男性7割女性3割)にあることから、その目標数値を掲げるのは厳しい状況。</p>
2	<p>(質問)市の審議会等で女性登用率が0%の審議会3つとは何か。</p> <p>(回答)令和5年4月1日時点の調査結果では、予防接種健康被害調査委員会、佐伯市文化財保護審議会、監査委員の3つであったが、佐伯市文化財保護審議会が令和5年8月に改選し、女性登用を図ったことから、現在は2つである。</p>
3	<p>(質問)市の最上位計画である佐伯市総合計画審議会の女性委員登用率が20%は低すぎるのではないか。</p> <p>(回答)総合計画審議会では、次回の委員改選により女性登用率は20%から36%となる。地域審議会については、地域振興課へお願いしている。</p>
4	<p>(質問)市民課の「男女共同参画に関する説明をする機会を設けていく」とあるが、令和4年度は具体的は取組は行ったのか。</p> <p>(回答)行っていない。</p>
5	<p>(質問)区長や自治委員会は男性がほとんどである。現在の女性区長の人数は何人いるのか。市として、女性区長を増やしていく考えはないのか。区長等の女性登用率の数値目標を掲げ、理事会で伝えていくことも必要ではないのか。</p> <p>(回答)具体的な目標などは立てていない。男女共同参画を推進していく必要があることは佐伯市区長連合会理事会で区長には伝えた。</p>
6	<p>(質問)林業における女性団体の育成活動について具体的な取組がないようだが、他市の事例を参考に女性が取り組める事業を実施してはどうか。</p> <p>(回答)林業は、山間部での危険を伴う現場となることから、働き手の安全確保は重要なことであることから、体力的に男性が必要であると考え。</p>

7	<p>(質問)父親の参観日への参加率の調査は行っているのか。</p> <p>家庭教育講座の参加者の男女比を数値把握して公表し、佐伯市民みんなで共有して考えていく必要があるのではないか。</p> <p>(回答)参観日への参加率は調査していない。家庭教育講座の父親の参加率は把握している。</p>
8	<p>(質問)企業訪問の際に、女性雇用率を上げるようお願いなどを行っているか。</p> <p>(回答)性別に関係なく、広く雇用するようお願いをしている。</p>

番号	そのほか意見
1	区長を決める時に、すでに前任者が男性区長を決めている状態で提案され、女性が入る余地がなかった。
2	女性で区長をする意志があった人が断られたことがある。
3	女性が佐伯市で活躍するためには、給付金や奨学金などのUターンを促進させるための政策が必要。
4	育児休暇を取得することは、比較的早い段階から予想できることから、市担当者は事業関係者に早めに告知して今後の進め方を十分に協議する等の配慮が必要。
5	(意見)職員の超過勤務を少なくすることは男女共同参画の推進には欠かせない。働く側の声を集め、改善すべきことを把握することが必要である。
6	男性の育児休暇を進めていくためには、周りの配慮が必要になってくる。育休期間に入ることが事前に分かっているなら、周りへの引継ぎや関係者への報告を促すなどを行っていくべき。